



工房信州の家 展示場案内

CONTENTS

長野中央展示場	04
長野古牧展示場	08
上田展示場	12
松本展示場	14
松本南展示場	16
諏訪展示場	20
伊那展示場	22
展示場の歩み	24
展示場の楽しみ方	26

工房
信州

CONCEPT

信州の木の家へ帰ろう

日本の風土には、木の家がいちばんふさわしく、
森に恵まれた信州では、身近な木で家をつくるのが叶います。
そして身近な木を使いながら森を守り育てていけば、きっと
この自然を子や孫の世代へ豊かなまま伝えていけそうです。
工房信州の家は、住宅業界がこぞって輸入木材頼みだった時代から、
長野県産材に特化した家づくりを始めました。
お客様自ら森に入り、大黒柱を選ぶ取り組みもしています。

わが家も信州らしい景観のひとつでありたい。
森にいるような清々しい空気を感じながら住みたい。
四季の移ろいへの感受性を大切にしたい。
家づくりとその後の暮らしが素敵な物語になればいい。
信州の風景にも人にもなじんで、信州の森ともいい関係にある
そんな家づくりを私たちはしています。





NAGANO CENTRAL

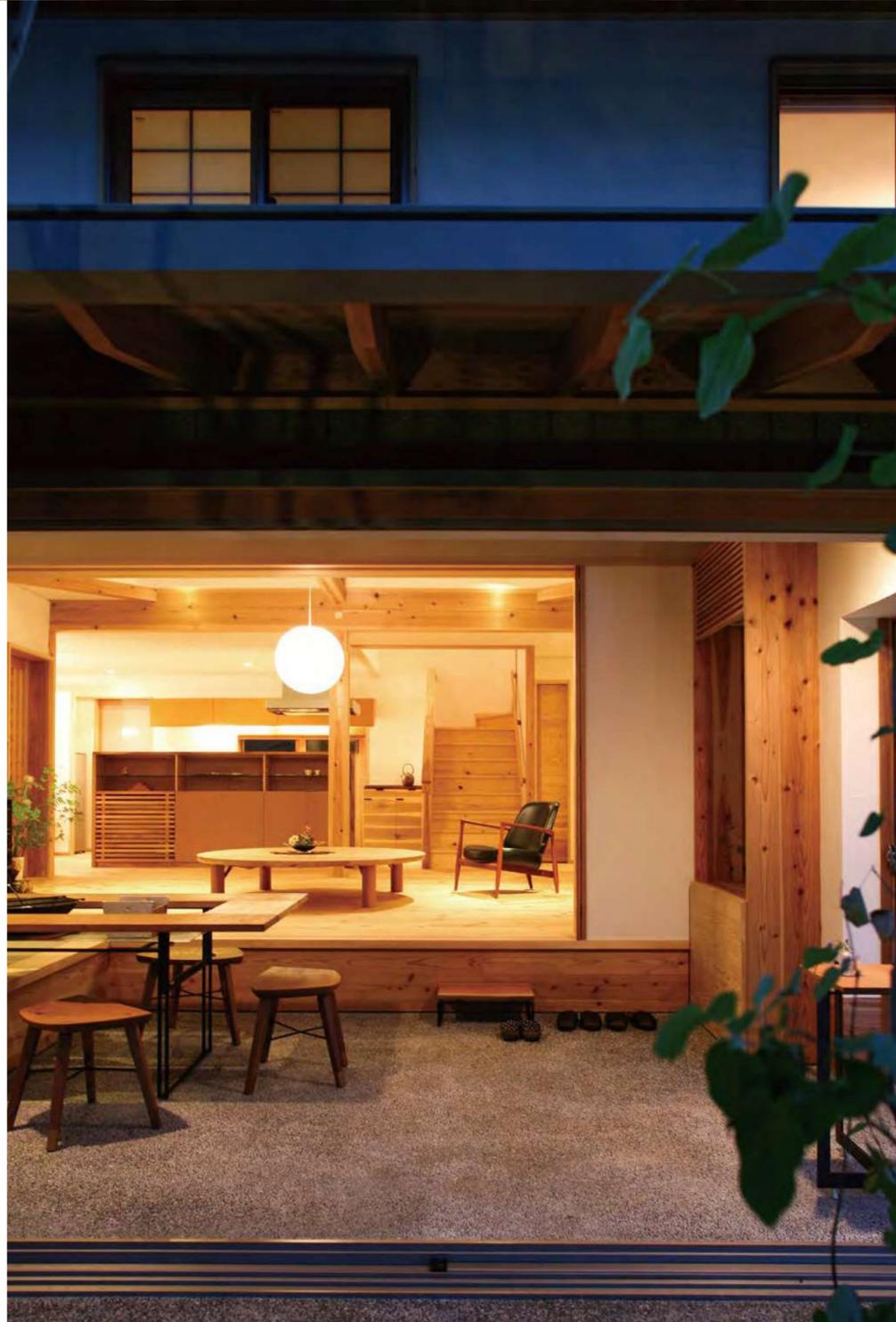
長野中央

展示場



信州らしい伸びやかな暮らしを
すっきりスマートに

自然が豊かで四季の変化がはっきりした信州で暮らすことは、
さまざまな喜びを毎日にもたらしてくれます。
ただその楽しみ方は、田舎で過ごすのと都市部のそれと違っていいと思います。
街の景観に溶け込むようにスマートでありながら、
自然とともにある豊かさ、伸びやかさを暮らしのなかで味わえる
都市に似合う信州の住まいです。





自然への感性が豊かになる 土間サロンの仕掛け

大きな開口をもつ土間サロンは、
屋内と屋外をつなぐ役割を果たします。
暮らしの場所が外の自然と近くって、
木々の葉の色の移り、山野草の可憐な花、小鳥や虫たちの訪れ、
そんな小さな変化にも気付くことができる日々が、
愛おしくなります。

コーナーに三畳分の琉球畳を敷いた、垢抜けていてしかもくつろげる土間サロン。外との密なつながりを愉しむため、二面に設けた大きな木製サッシは壁側にすべて引き込めるようサッシメーカーと打合せを重ねた労作。季節の彩りを拝借して飾り棚の一輪挿しにそっと野の花を生ける、情緒豊かな暮らしへと誘う。



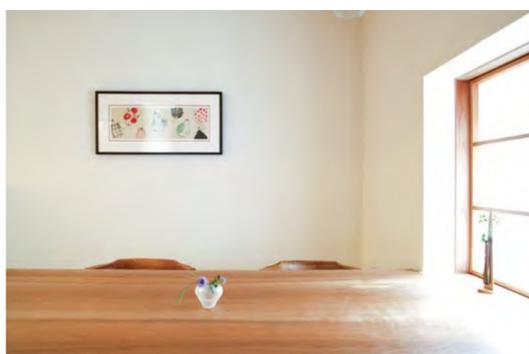
外壁は21mm厚のカラマツ材の深溝張り。凸凹の板を交互に張り合わせることで無垢材特有の反りを防ぎ、深溝の陰影で外観に豊かな表情を生む。浸透性の自然塗料で木の質感を活かし、明るいグレーカラーが都市の景観になじむスマートな外観。



自然素材がもつ優しさのなかで 子どもを育てる

まるで森のなかにいるみたい
思わず深呼吸したくなるのは、
長野県産の木材をはじめ、自然素材を使っているから。
ほかにも、工務信州の家がこだわる
エアパスソーラー工法や広がり間取りのおかげで、
家の中にいつも清々しい空気を感じます。
家族の健やかな成長は、
信州のこんな家でならきっと叶いそうです。

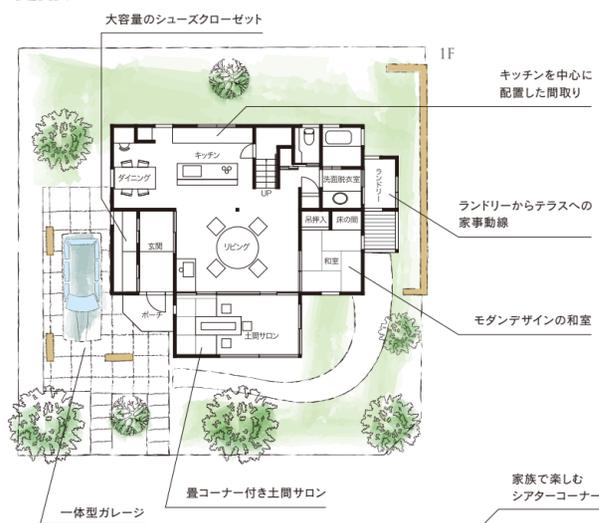
キッチン背面収納は木曾の木工職人の手によるもの。ホノキは辺材・心材の境界がくっきりと明確で表情豊か。オープンキッチンに相応しいインテリア性を備える。モダンな和室は「シンプルに、お洒落に」がテーマ。漆塗りの床の間と、淡いグレーで統一した建具と畳の緑がスタイリッシュな印象。



二階の共有スペースは、工務信州の家の特徴のひとつ。個室からあまいな家族空間へとゆるやかに進化させる、工夫のプランニング。この家の共有スペースは、家族のシアターコーナーに。トチの木の本棚は、引き出し式の収納も兼ねる。二階の床材はカラマツ、一階床のアカマツとの表情の違いを見比べるのも楽しい。

長野中央展示場

PLAN



DATA

延床面積 — 155.82㎡ (47.13坪)
1F面積 — 97.83㎡ (29.59坪)
2F面積 — 58.07㎡ (17.57坪)

CONCEPT

まだ知名度のない長野市で、工務信州の家づくりを端的に知っていただくため、ベーシックな間取り、素材を基本としたプランニング。そして都市部においてこそ信州らしい豊かな自然を感じる毎日であるように、庭を15種以上の樹木や山野草で小さな雑木林のようにあしらひ、屋外の自然を内側へ取り込む土間サロンの最大限に活かしました。

所在地／長野市西尾張部1030-2
SBC長野中央ハウジングパーク内
定休日／火・水
営業時間／10:00～18:00



カーナビ施設検索
(SBC長野中央ハウジングパーク)

